

教 育 広 報

いわみざわ市の教育

…特集… おいしい学校給食
冬の交通安全対策



～岩見沢小学校の新校舎が完成しました～

岩見沢小学校は、築 45 年が経過し施設・設備の老朽化が進んだため、平成 23 年度から校舎の新築工事が行われていましたが、昨年 12 月に完成しました。

岩見沢市教育委員会ツイッター

市教委 HP の更新情報や、イベント情報などをつぶやいています！

ぜひ、フォローしてください。

http://twitter.com/iwamizawa_edu



おいしい 学校給食



○岩見沢産食材の活用

学校給食では、岩見沢産の新鮮でおいしい野菜やくだものをたくさん使って給食を作っています。

今年は、北海道では難しいとされている「さつまいも」の栽培を市内の農家の方にお願ひし、秋に志文小学校の子どもたちに収穫してもらって学校給食で使用しました。

このような取組は、自分たちの収穫した食材を岩見沢のみんなが食べることに大きな喜びを感じることができ、勤労への感謝の気持ちが生まれるなど、子どもたちにとっては貴重な体験となります。

今後も、岩見沢の安全でおいしい食材を多く使用し、子どもたちに喜ばれる学校給食を目指していきます。

★ 収穫の様子

志文小学校の3年生が収穫作業をしました。

子どもたちは、「さつまいも」をたくさん収穫しました。

作業後には、おいしい焼き芋を作ってみんなで食べました。



○おいしいメニューの充実

これまで、岩見沢共同調理所では、オーブンや蒸し器がなかったため、焼き物や蒸し物などの調理を行うことができませんでした。しかし、2学期からは、スチームコンベクションオーブンを導入したことで、焼き魚や蒸しパンといった新しいメニューを出すことができるようになりました。

これからも、おいしいメニューをたくさん出せるようにしていきたいと考えています。

★ メニューの紹介



大型のスチームコンベクションオーブンを3台導入しました。一度に「さんま」を約300人分焼くことができます。



「さんま」の身がくずれないように、慎重に作業しています。



この日の献立は、白菜の味噌汁、春雨の炒め物、さんまのかば焼きでした。



冬の交通安全対策

◇気を付けよう！冬の道

冬の通学路は危険がいっぱいです。みなさんも次のことに十分気を付けて、事故にあわないようにしましょう。

道路の横の雪山はキケン！

道路の横にある雪山はとってもキケンです。車の運転手さんからよく見えません。また、冬の道路は凍ってすべるから、車はすぐに止まれません。ですから、絶対に雪山の上で遊んだり、急に飛び出したりしないようにしましょう。

冬の道路は凍ってキケン！

雪が積もると道路は凍って、とても滑りやすくなります。ですから、道を歩いているときや、横断歩道を渡るときは、転ばないように気をつけましょう。

もし、車が近づいてきたときは、道ばたに寄ったり、ちよっと立ち止まったりして注意しましょう。友だちとふざけると、とても危ないよ。



除雪車の近くはキケン！

道路で作業している除雪車などの大型車の近くはとってもキケンです。万が一巻き込まれたら大変です。ですから、絶対に近くに行つてはいけません。

屋根からの落雪もキケン！

登下校の時は、屋根からの落雪にも気をつけましょう。もし、雪が落ちてきたら、とてもキケンです。屋根の下は歩かないようにしましょう。

ドライバーの皆様へ

冬は日没が早くなることや、降雪による視界不良などにより、子どもたちの発見が遅れ、重大な事故につながる可能性が高くなります。スピードの出し過ぎや飛び出しなどへの注意はもちろんのこと、ライトの早期点灯など、子どもたちに優しい運転を心がけていただきますようお願いします。



教育委員会 各課の紹介

教育委員会の各課の仕事を紹介します。

教育委員会を少しでも身近に感じてもらえればと思います。

子ども課

子ども課は、児童館の管理運営や学童保育、家庭における子どもの養育相談、非行防止と

いった子どもの健全育成のほか、認可保育所の入所受付、市立幼稚園、へき地保育所の管理運営や市立保育所である「ふれあい子どもセンター」での保育業務を行っています。

であえる岩見沢にある「いわみざわ子育て支援センター」には、保育士や家庭相談員、児童相談員を配置して、子育てや療育、児童虐待といった相談に対応しています。また、子育てを総合的に支援するため、さまざまな専門機関と連携した「チャイルド・ホットライン」がありますので、子育てについて「困りごと・相談ごと」がある場合は、まず、いわみざわ子育て支援センターにご相談ください。

このいわみざわ子育て支援センターに併設して常設

型子育て親子ひろば「ひなたっ子」があります。ひなたっ子は、3歳未満の子どもと保護者の方が気軽に遊ぶことができる場所となっています。

「ふれあい子どもセンター」では、豊かな自然環境の中、特色ある保育を実施しています。

緊急的・一時的に家庭での保育が困難となる子どもに対しては、一時預かり保育を行っています。また、センターを開放して、家庭で子育てをしている親子と入所している子どもとの交流を深めています。

今後とも、子ども課は子育て支援に全力で取り組んでいきますので、みなさんのご理解ご協力をお願いします。



常設型子育て親子ひろば
「ひなたっ子」

文化・スポーツ振興課

文化・スポーツ振興課は、皆さんの文化・スポーツ活動の支援や芸術文化講演、文化財保存の仕事をしています。

市民の文化活動のお手伝いとしては、昨年で60回目を迎えた市民の文化祭や、小中学生の皆さんを対象とした子ども文化祭を、文化団体や学校と協力して開催しています。また、野外音楽堂「キタオン」や「まなみーる」といった施設で、クラシックやポップス、和太鼓のコンサートをはじめ、工芸展や文化講演会などを開催しています。郷土科学館では、プラネタリウムの上映や工作・実験教室を実施しています。最近では、教育大の学生による絵画ホールでのミニコンサートも人気があります。市指定の文化財を紹介する「指定文化財めぐり」や空知近郊の歴史を訪ねて学ぶ「歴史の道を訪ねて」のバスツアーも毎年実施しています。

す。

スポーツの面では、市民のスポーツ活動を支援して健康的な生活を送ってもらうことを目指し、スポーツ団体と協力して、ウォーキングマラソン大会、市民歩



市民歩け歩け大会

け歩け大会などを開催しています。また、平成23年度から小学1～3年生を対象に、楽しいキッズスポーツ教室を開催し、子どもたちの体力・運動能力の向上を図っています。

その他、市内には市民会館・文化センター・スポーツセンターなど、たくさんの文化・スポーツ施設があります。施設が修理を行い、皆さんに安全・快適に利用していただけるよう努めています。

これからも、皆さんの文化・スポーツ活動の支援に励みますので、よろしくお願いします。

特色ある教育活動 ・学校自慢



市内 26 の小・中学校・市立高校を順に紹介していきます。



(茶道教室)

最後に、伝統文化に触れる体験活動です。校区にある高德寺において、例年茶道教室を行っています。住職の藤原様の講話を聴き、茶道を通して礼儀作法を学ぶなど、日本の伝統文化に触れるよい機会となっています。今後、少人数複式学級のため、指導力向上を目指し、全校一丸となって研鑽を積んでいきたいと考えています。

最後に、伝統文化に触れる体験活動です。校区にある高德寺において、例年茶道教室を行っています。住職の藤原様の講話を聴き、茶道を通して礼儀作法を学ぶなど、日本の伝統文化に触れるよい機会となっています。今後、少人数複式学級のため、指導力向上を目指し、全校一丸となって研鑽を積んでいきたいと考えています。



(カヌー体験活動)



(稲作体験活動)

脱穀、もみすり、そして、精米をして調理と一連の米作りを学習し、食の大切さを学んでいます。次に、隔年ごとに実施しています力ヌー体験活動です。今年は、7月25日(水)に北村ふれあい広場で、三笠力ヌー協会の方に指導を受け、有意義な体験活動となりました。最後に、伝統文化に触れる体験活動です。校区にある高德寺において、例年茶道教室を行っています。住職の藤原様の講話を聴き、茶道を通して礼儀作法を学ぶなど、日本の伝統文化に触れるよい機会となっています。今後、少人数複式学級のため、指導力向上を目指し、全校一丸となって研鑽を積んでいきたいと考えています。

メープル小学校

豊かな自然や環境を生かした教育活動



(音楽の公開授業)

本年度も十一月十四日(水)に、歌舞伎のDVD鑑賞をもとに、舞や音のリズムなど視点を絞った感想を発表する二年生の音楽と、グループ活動での練り合いを通し、理由を明確にして説得力ある意見を発表し合う二年生の国語の授業を公開しました。

豊中学校

成果と課題を明確にした学力向上への取組



(国語の公開授業)

「豊かに表現でき、自ら学ぶ生徒の育成」各教科・領域における言語活動の充実を通して「テーマに、言語活動の充実を手段として取り入れながら教科の目標達成を目指す研究の、三年計画の「要」である二年次目の取組を管内の教育関係者の皆様に御覧いただきました。

今後、生徒一人一人の力を最大限に伸ばすために、指導力向上を目指し、全校一丸となって研鑽を積んでいきたいと考えています。

岩見沢市 父母と先生の会 (岩見沢市PTA連合会) の取組

1 はじめに

11月30日(金)、「子どもをネットトラブルから守るために」というテーマのもと、岩見沢市PTA連合会『教育懇談会』を開催しました。本会は、高度情報化社会の進展に伴う通信機器による被害を考え、一昨年「市内小中学生の携帯電話原則所持禁止」を宣言しました。あれから2年、今一度通信機器に関する危険性の理解、児童生徒の所持の在り方、責任の所在などについて共通理解を



図り、本会としての活動の方向性を再確認することを目的として開催しました。

2 教育懇談会の概要

本懇談会の趣旨説明の後、講師として、空知教育局教育支援課高等学校教育指導班 松田卓也指導主事をお迎えし、「子ども達のインターネット利用の危険性について」講演をしていただきました。

内容は以下のとおりです。

(1) 子どもたちが利用するインターネットサイトについて

プロフィールサイト、ブログ、無料ゲームサイト、掲示板サイト、動画サイトなどがあげられ、危険性の高いものも多く含まれている。

(2) ネットトラブルの現状について

個人情報公開によるトラブル、ネットいじめ、自傷・自殺等に関する書き込み、不法・不良行為に関する書き込み、炎上被害などがあり、学年が上がるにつれてトラブルを経験する割合は高くなっている。

(3) ネットトラブルを防ぐ方策について

フィルタリングサービスの利用、家庭でのルールづくりなどが必要であり、何より子どももの利用状況を把握できるのは家族だけであるという自覚が重要である。

(4) その他

携帯電話の利用に関する意識等調査結果、子どもに携帯電話を持たせる前に保護者として知っておかなければならないことなどを十分理解することが必要である。

特に、携帯電話の使用に関するルールについて、子どもの意識と保護者の認識に大きな差があることが強調されていました。これを受け、本懇談会実行委員長による

「通信機器は大変便利

な道具ではあるけれど、使い方を誤ると負の影響が大きい



3 終わりに

危険なものになること。フィルタリングや家庭でのルールづくりなど、講ずる方策はあるが、負の影響のすべてを払拭できる確実な方策はないこと。これらの現状を踏まえ、2年前の宣言を今一度確認することが重要であること。」というまとめで本懇談会は終了しました。

今年度の教育懇談会は松野哲市長、大橋弘道教育委員長、舩甚和俊教育長をはじめとするご来賓と190名の会員、あわせて200名の参加のもと、所期の目的を達成し、大きな成果をあげて終了しました。本会としては、今回の取組を今後さらに発展させていきたいと考えているところ です。



〈問い合わせ先〉

岩見沢市PTA連合会事務局

事務局長 出口 哲也

(明成中学校 教頭)

TEL 24局3485

Beyond the dream.

(夢の向こう側へ)

岩見沢志文フアルコンズ総監督

石田 敏

私たち、岩見沢志文フアルコンズバレーボール少年団は、昨年11月に行われた「第10回全道スポーツ少年団バレーボール交流大会」で、男女アベック優勝を果たし、それぞれ3月に高知県で行われる全国大会に出場できることとなりました。

優勝した時、子どもたちは皆、喜びの涙を流していました。

岩見沢志文フアルコンズは少年団ではありませんが、学校の部活動として、志文校区の子どもたちをバレーボールを通し健全育成することを目的に活動しています。創部は市内で最も古く、34年の歴史があります。その間、数々の地区や全道大会で優勝や入賞をし、男子・女子共に4度の全国大会（今回含む）を経験しています。今回のアベック全国大会出場は、単一の小学校チームとして異例の

快挙ですが、これも学校と地域、指導者（教師）と保護者の協力体制があり、そし



て、何より素直な子どもたちに恵まれたからこそ、全てに深く感謝しているところですよ。

3月の全国大会

では、応援してくださる皆さんへの感謝の心を、最高のナイスプレイで表現したいと考えて、日々練習に励んでいます。

ところで、私が総監督になってから、岩見沢志文フアルコンズには団のテーマがあります。それが、「Beyond the dream」

です。これは、「夢の向こう側へ」という造語です。子どもたちの夢をかなえられる指導者になる。そして、子どもたちの夢をかなえ、その先にある風景を見せてあげたい。さらには、夢の先に新たな夢を見られる団を目指しています。

それを達成するために、3月の全国大会では「岩見沢志文」の名に恥じぬよう頑張ってきたと思います。



写真に魅せられて

北海道写真協会岩見沢支部

北海道写真協会岩見沢支部は昭和45年に発足しました。

お互い若かったカメラ好きの仲間を誘い、写真道展の入賞を目標に研鑽の日々が続きましたが、現在では多くの入賞・入選者を送り出す支部に成長しました。

平成10年に松村美代子氏、平成18年には田中明子氏が写真道展大賞を受賞するなど、そのレベルの高さが評価されるまでになりました。

平成22年には、創立40周年記念写真展を文化センター展示室で盛大に開催し、多くの市民の方々に足を運んでいただきました。

支部の活動として、年6回の例会、撮影会、市民文化祭への参加、岩見沢文化連盟芸術展への出品、撮影旅行、文化センターでの写真道展岩見沢巡回展の開催など、1年間多様な事業を行っています。



(岩見沢支部会員撮影会の写真)

例会には、会員各自の作品が出品され、持ち点による投票を行っています。

獲得点により上位作品を確定します。上位作品については、撮影者が撮影の意図を説明した後、担当主管者のコメントがあり、会員からも意見が出されます。また、出品された作品は、北海道写真協会本部でも審査されます。



1月の例会では、1年間の例会での積算点数と北海道写真協会本部で審査された点数を合計した最高得点者を、年度賞受賞者として表彰しています。

当支部も発足から42年を経過し、ご多分にもれず少子高齢化の波にさらされていますが、気持ちはいつも「はたち」を合い言葉に、カメラをぶら下げて四季を問わずシャッターを押し続けている今日この頃です。

写真を通して考えることは、心身ともに健康でなければならぬということです。健康と見る目を養い、これからも仲間と一緒に行動し、写真の奥義をきわめたいと思っています。

指導室から

いじめのない楽しい学校づくり!!

平成24年1月と11月の2回に分けて、市内の高等学校4校を含む全29校による「仲間づくり『子ども会議』」を開催しました。その会議では、各校の児童会・生徒会が主体となっており、『いじめ根絶の取組』などについて交流しました。

○あいさつ「ハイタッチ運動」

OSMAP活動「しっかり・みんなであいさつ・プロジェクト」

○笑顔週間

○サンキュー・エブリディ

各学校は、それぞれ工夫を凝らした多様な取組を行っています。

『あいさつ・協力・感謝・絆・思いやり』が共通の視点となっているようです。

いじめは絶対に許されません。

いじめをなくするためにはどうしたらよいのか。

各校の実践などを

交流することにより、子どもたち自身が、自己を見つめ直すとともに、よりよい人間関係を築くために大切なことを再確認する場となりました。



我が子が友達と仲良く元気に遊ぶ。笑顔で生活する。そしてしっかり勉強する。これらは、どの保護者もが切に願うことです。

いじめの問題は、学校だけが行ったり、解決にむけた努力をすればよいものではありません。家庭や地域等、子どもたちに関わりのあるすべての人たちがともに考え、歩調をあわせていくことが大切であることはいうまでもありません。

私たち保護者は、我が子を最優先に守ることはもちろんのこと、すべての子どもたちに目を向け、寄り添い、成長を願っていききたいものです。

家でできる 簡単給食ししぴ♪ 「さつま芋いちご蒸しパン」

(10月の給食より)

材料(4個分)

さつまいも	…1/4個(50g程度)	いちごジャム	…大さじ2
豆乳	…大さじ4	三温糖(砂糖)	…大さじ2
さだほなみ(岩見沢産小麦粉)	…60g	食塩	…少々
ベーキングパウダー	…小さじ1		

作り方

- ① さつまいもは、1cm角に切って、いちごジャムを混ぜる。
- ② 小麦粉、ベーキングパウダーを合わせてふるっておく。
- ③ 三温糖、塩、豆乳、②をだまにならないように混ぜる。※混ぜすぎ注意
- ④ アルミカップに③を入れ、上から①を入れておおよそ15分蒸してできあがり。

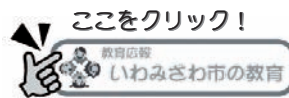
ひとくちメモ

岩見沢オリジナル蒸しパンです。さつまいも・いちごジャム・小麦粉とほとんどの材料が岩見沢産です。さつまいもは、今年度学校給食用に農家の方に特別に植えていただいたものです。岩見沢産のさつまいもが食べられるなんてとても幸せなことですね。給食を通じて、地元の食材のおいしさを伝えていければと思っています。

(さつま芋いちご蒸しパン)



教育広報のWEB版でカラー写真もご覧いただけます！
市教委HPのトップページにある、このバナーをクリックしてご覧ください。



=ご意見・ご要望をお寄せください=
<担当>

岩見沢市教育委員会学校教育課情報企画係
〒068-0024

岩見沢市4条西3丁目1番地であえーる岩見沢3階

☎ 0126-35-5123

FAX 0126-25-2995

メール ejyouhou@i-hamanasu.jp

岩見沢市生涯学習センターの

愛称が決まりました!!

今年4月にオープンを予定している、岩見沢市生涯学習センターの愛称を募集していましたが、このほど、市内にお勤めの宮崎陽一さんの「いわなび」に決定しました。

94人から135件の応募があり、その中から選考した結果、「岩見沢市民の学びをナビゲート(道案内)する施設であることが、うまく表現されている。」などの理由で選定されました。

図書館の利用がさらに便利に!!

市立図書館では、11月からこれまで以上に便利で使いやすいシステムを導入しました。

北海道の公立図書館では初となる、図書の情報記憶させたICタグによる便利な貸出機能を紹介します。

○窓口がスピーディーに

ICタグ読取機によって、同時に何冊分もの情報を処理することで、窓口カウンターでの手続きが手早く行えます。

○自動貸出機を2台設置

簡単なパネル操作で借りる本を貸出機に読み取らせ、自分ひとりで気兼ねなく手続きを行えます。